

かなりレアな日蓮アルプス 日蓮連山(アルプス)～鉢岡山

実施日 2021年10月24日(日)
 天候 晴れ
 リーダー 渋谷 京子
 参加者 福島 政幸、石附 智江、渋谷 京子、遠井 謙策、中村 友子、伊藤 久雄、石原 勝正、白石 佐恵、宮崎 敏男 計9名
 費用 484円(高尾起算)
 タイム 藤野駅(9:10)金剛山登山口(9:35~9:40)金剛山(10:10~10:15)峰山～八坂山往復(10:25~10:35)杉峠(10:55)鉢岡山(11:30~12:05)杉峠(12:30)日連山(12:45~12:50)宝山(13:00~13:05)日連橋(13:45)藤野駅(14:20)

一週間前位前から寒気が下りて来て朝晩は冷え込み、二日前は各地から初冠雪の便りが届き師走並みの寒さとなったがこの週末は秋晴れのこの時期ならではの山日和となった。

藤野駅に参加者9名は集合、今日のコースはマイナーではあるが『日蓮アルプス』と呼ばれ6つの低山の縦走である。

日連大橋に向けて歩き出すが駅前からの車の往来が激しく緊張を強いられる。



赤い鳥居の登山口から鬱蒼とした樹林帯に分け入る。九折の急坂を一頻り登ると広い空間に丁度ベンチが！汗を拭いフルーツで喉を潤し更に急坂を登り詰めると金剛山に着いた。

集落の守り神、金剛山神社から日蓮アルプスの縦走はスタートする。アップダウンはあるものの道は歩きやすく程なく左へ峰山の案内板があり直ぐに着いた。北西側が開けていて陣馬山、生藤山辺りか上野原方面の山並みがくっきりと連なっている。

峰山から北へ少し下ると八坂山だが展望は望めなかった。元の道に戻り杉峠から鉢岡山に向かう。新和田峠に着くと空が開けて数件の民家がある。笹に覆われた細い山道を登り詰めると鉢岡山の砲火



陽射しを浴びながらお喋りタイムを楽しんだ。(密は避けてね)

写真に収まり来た道を杉峠迄ぐんぐん下って行く。6山のアップダウンは中々ハードであるが道はしっかりしているので快適な登山道である。

15分程で日連山、立派なベンチが何処へ行ってもしつらえてある。峠や山頂から北に目をやると中央高速道や藤野の街並みが樹林から垣間見えた。



最後の宝山で一休み後下山に掛かる。暫く進むと急坂、ロープ有りの注意書きが！覗くとかなりの急坂である。ロープや木を掴み岩場を慎重に下りて行く。

今日のコースのハイライトであるが久しぶし振りに緊張した(汗)メンバーは余裕の顔？ 藤野駅方面に向け緩やかな道を下って行く。里山集落が目に入ると間もなく下山口だ。



舗装路を行くと野菜の無人販売が2ヶ所、つい覗いてしまう。里山の花々や風景を楽しみお喋りしながら進む

と今朝通って来た日連大橋が目に入って来た。車の通行を気にしながら進むと漸く藤野駅の駅舎に到着した。

本日は参加された皆さん大変お疲れ様でした。有難うございました。

低山の縦走！アップダウンも多く急坂、ロープと変化に富んだ山歩きでした。

これから紅葉の時期、どんな紅葉が待っているのか楽しみにしています。

又、皆さんとご一緒に笑顔の山歩きが出来たら！とワクワクしています。

(記・渋谷 京子)

(写真提供・伊藤久雄/石原勝正)

い山かかれゆった。？独りの秋の
 着こり、わかれゆった。？独りの秋の
 跡こり、わかれゆった。？独りの秋の
 台とに覆場で昼食した。？独りの秋の
 頂や広くりムにもいし会
 誰こぶめ